

教育研究評議会議事録

令和3年9月8日（水）
15時30分から17時00分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利（学長）
評議員 飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 額瀨晃（理事）
林田光祐（副学長）
是川晴彦 本多薫 大森桂 大西彰正 並河英紀 上野義之 川前金幸
中島健介 落合文吾 村山秀樹 渡部徹 伊藤浩志 三上英司 佐藤慎哉

陪席者

大森夏織（監事）
清塚邦彦（小白川キャンパス長）

欠席者

羽鳥政男（副学長）
中西正樹

- 1 教育研究評議会議事録（7月14日開催）の確認
玉手学長から、前回7月14日開催の本会の議事録（案）について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】 令和4年度学校推薦型選抜学生募集要項及び私費外国人留学生入試募集要項について
出口理事から、令和4年度学校推薦型選抜学生募集要項及び私費外国人留学生入試募集要項について、令和3年7月5日国立大学協会通知「国立大学の2022年度入学者選抜についての実施要領」を踏まえ変更することについて審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 3 【協議】 中期計画における「その他の記載事項」について
花輪理事から、9月末に文部科学省に提出予定の中期計画における「その他の記載事項」の内容について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 4 【報告】 令和4年度社会人入試学生募集要項について
出口理事から、議題に関して、報告があった。
- 5 【報告】 令和4年度の教育プログラム認定について（学部・大学院）
出口理事から、議題に関する報告及び令和5年度に向けての教育改革について説明があった。

本件に関する意見は以下とおり。

- ・教育を効果的かつ効率的にするため、何を共有化し何で独自性を出すか検討する必要がある。
- ・教育改革について、ロードマップを示していただきたい。
- ・4学期制の場合は時間割が複雑になる。ある程度の共通した科目をとる方針も検討する必要がある。

るのではないか。

- ・4学期制は学部だけの対応は難しく、全学的に時間をかけて取り組まなければ難しい。
- ・4学期制を検討する際は、6年一貫教育の観点から学部と大学院の接続をどうするかという点も併せて考えるべきである。
- ・4学期制導入により授業の負担が増えることが懸念されるため検証が必要である。

6【報告】 山形大学将来ビジョン2050について
学長から、議題に関して、報告があった。

7【報告】 全学教育研究支援組織の見直しについて
花輪理事から、議題に関して、報告があった。

本件に関する意見は以下とおり。

- ・基盤教育機構の全学教育組織としてのあり方を検討いただきたい。
- ・組織見直しは人事や予算とセットで検討すべきではないか。
- ・ひとつの組織が複数の観点を持っているのが現状であり、観点ごとに分けるのは組織の分割につながりかねない。ミッションを明確にし、ミッションに組織をあてるというやり方がいいのではないか。

8【報告】 令和4年度教員人事計画について
学長から、議題に関して、報告があった。
また、資料については、個人情報等の記載があるため非公表とし、報告後回収された。

本件に関する意見は以下とおり。

- ・戦略的人事で採用された教員は昇任が遅れることが懸念されるのではないか。

9【報告】 令和4年度概算要求について
根本理事から、議題に関して、報告があった。

10【その他】 飯田キャンパス内の高性能コンピューターの学内利用促進について
医学部長から、飯田キャンパスに導入されている高性能コンピューターの利用促進のため、関心のある教員がいれば相談してほしい旨説明があった。

11【その他】 研究者の紹介依頼
医学部長から、医学教育に関するモデルコアカリキュラムの改訂が予定されているが飯田キャンパス内に候補者がいない科目があり、研究者を紹介してほしい旨説明があった。

今回は、令和3年10月13日（水）に開催することとなった。